

第10回議会改革検討協議会 議事録（要点筆記）

【日時】平成28年2月5日（金）10時00分開会

【委員】溝口委員長、南出副委員長、池辺委員、草刈委員、中谷委員、野田委員、森下委員、貫野議長、林副議長

【職員】櫻井事務局長、牧田事務局次長、里見事務局次長補佐、中山議事調査係長

報告事項（溝口委員長）

青年会議所が来訪。

泉大津高校での主権者教育の実施に向けて調整中

検討している教育内容

ディベート⇒マニフェスト作成⇒模擬投票

3月末が、学校が府へ新年度の授業カリキュラムを提出するリミット

国からカリキュラムが決められており、新3年生で年間4時間の授業

あくまでも学校の社会科の先生主導のもとに、その中の一部を担っていくと考えられる。

開催時期も未定。

1 今後の検討課題について

①教育現場との関わりについて

- ・中学生サミットについて、議会を身近に活用していただく

議会施設の活用

対象：学校教育に資する内容であること。

学生の使用に限る。

森下委員より次回案を提示。

- ・議場見学について

小学校はこれまで通りマニュアルに基づいた説明を議員が実施

中高生にも要請、一般にも実施をしていく方向を視野に入れる

- ・小中学校、泉大津高校への出前講座

委員の共通認識。

- ・子供議会や模擬議会

中学生サミットを核に進め、視野に入れる

- ・学校現場における主権者教育

議会メニューを提示できることを目指していく

②HPの中身の深化

会議録研究所と定期的に意見交換会を実施していく

③中継に関わる事項

- ・既存施設でのテレビを活用しての中継
かかる費用を含めて調査をする
※パブリックビューイングについても視野に入れる。
- ・委員会や特別委員会でのネット中継について
かかる費用を含めて調査をする

④議会運営に関する事項

- ・文書による質問
今後調査研究を重ねた上で、再度提案する
- ・全ての会議を公開とする
異論あり。ただし、公開に向けての議論、努力はしていく。
ホームページ上で、開催日時と、決定した事項を会議録（要点筆記）で公開。
対象：議会改革検討協議会
※事務局とHP上にどのようなかたちで掲載するかを協議し、次回報告
- ・決算審査で議会として事業評価を行う
武蔵野市議会で事例がある。今後、資料を揃えて説明。
- ・通年議会について
異論もあり、議題から削除

⑤議会独自の試み

- ・議会BCP（災害時対応）
進める方向で合意

※次回協議会日程：3月25日10時～